

かけはし



2015年

Vol.76



- 看護のチカラ 集中ケア認定看護師
- 健康管理センター 保健師の活動紹介
- リレーコラム
- 出前講座を開催しました
- 新任医師紹介
- 労災について
- マーズへの対応について

CONTENTS

連載企画

看護のチカラ

集中ケア認定看護師

最近では全身麻酔手術を受けられる患者様に対して、手術の前に積極的に口腔ケアを進める病院が増えてきています。いったい、それはなぜなのでしょう？



ICU看護科長
集中ケア認定看護師
重田 知洋

元来、口の中には約100億個の細菌がいます。特に歯の表面に付着する「**歯垢**」は食べカスではなく、細菌の塊であり、うがいだけでは取り除くことができません。

そして、この「**歯垢**」や「**歯石**（歯垢が固まったもの）」を放置しておくと、歯周病などの原因となることは、皆さんも良くご存知のことだと思います。しかし、近年これらに加え、手術後に歯垢や歯石が原因で様々な合併症を引き起こす事例が報告されています。

そのため手術前に出来る限りこれらを取り除き、口腔内の清潔を保つことで、術後に起こりうる様々なリスクを回避することができるのです。こうした術前口腔ケアの効果について、以下の表にまとめましたのでご覧ください。

術前口腔ケアの効果

1 術後の肺炎予防

お口の中の細菌が肺に入ると肺炎をおこします。特に手術後で抵抗力が下がった患者様には発症のリスクが高くなります。

また全身麻酔の手術では、挿管チューブと共に口腔内の細菌が気管に押し込まれて、それが元で肺炎が起きる可能性もあります。

2 手術部位の感染予防

唾液とともに飲み込んだ口腔内細菌が手術した部位に感染することにより、治癒が遅れる可能性があります。

3 全身麻酔の挿管時に問題となる、ぐらつきのある歯を発見できる

特に前歯が著明にぐらついている場合には、手術の前に抜歯や固定を行う必要があります。

このように手術前に口腔ケアを行うことで、術後の感染を減らすことができ、結果的に患者さまの早期退院にもつながります。

また、これは歯がない方や入れ歯の方にも言えることですので、今後もし手術を予定されているようであれば、事前に歯科を受診されることをお勧めします。



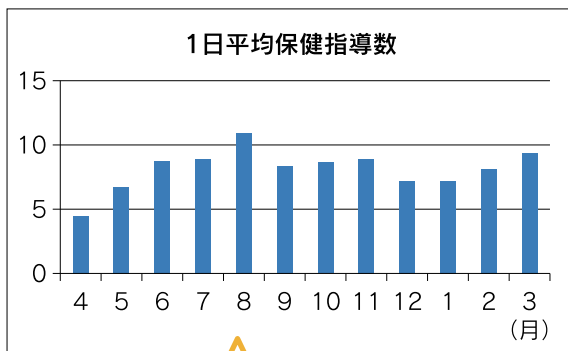
保健師の活動紹介

健康管理センター



保健師
矢山 由起子

健康管理センターでは、がんドックや日帰りドック、協会けんぽ健診や市のがん検診など（昨年約7400人）実施しています。保健師は、日帰りや泊ドック等の方で希望者に、ドックの結果を参照しての生活習慣の見直しや、健診後の精密検査の受診予約をとったりなどの保健指導を行っています。



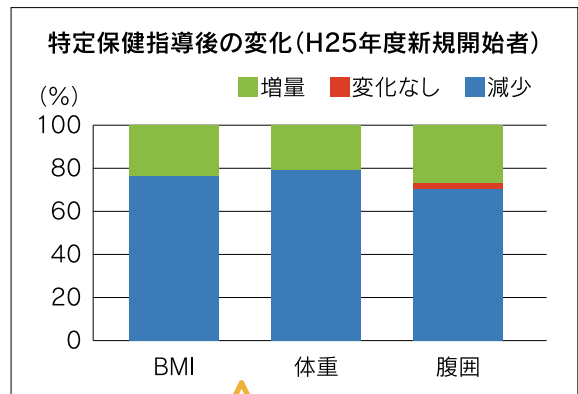
昨年度保健指導実績は、2000件で、各月の一日あたりの数はグラフのとおりです。保健指導時や健診結果送付時に精密検査が必要な方へ、当院の受診予約をさせていただいた昨年度の件数は、127件です。

院内での健診以外に、JAや近隣企業での巡回健診（昨年約7000人）を行っています。巡回健診の実施後、主にJA組合員を対象にした、健診結果説明会や相談会を実施しています。説明会の開催回数は昨年度30回、利用者数は293名でした。その内、精密検査の当院予約をさせていただいた件数は15件です。

このように、健診やドックの受診でJA尾道総合病院を知っていただき、「せっかくだから、専門的な医療が受けられるJA尾道総合病院へ行こう」と、精密検査の受診や治療につながった方も多くいらっしゃいます。

病気の早期発見・早期治療へのつながりの他、病気にならないための取り組みも行っています。

特定健診の問診や計測値などで該当になった方の希望者へ、特定保健指導を実施しています。半年間の目標を一緒に設定し、生活習慣の改善に取り組む事を支援しています。平成25年度の新規保健指導開始者は29名でした。（26年度は18名でした。）



平成25年度に新規保健指導開始者の指導実施前後の変化は、グラフのとおりです。約7～8割の方が、半年間の取り組みで体型でも改善が見られています。

保健師は、健康づくりを支援する様々な活動を行っています。楽しくいきいきとした毎日を送るためにも、健康は大切です。病気になるのを予防し、心身ともに健康な状態で生活ができるよう支援いたしますので、気になることなどございましたら、保健師までご相談ください。





看護部副部長
医療安全担当科長
内海 元美



はじめまして。医療安全管理室専従看護師の内海です。私は病院内での医療安全に関わる仕事をしています。医療安全って何？医療安全管理室って何をするとところ？と思われる方がいらっしゃるかと思います。

まず、医療安全の歴史についてお話したいと思います。日本では1999年（平成11年）を「医療安全元年」と位置づけ、医療の安全確保に積極的に乗り出しました。

この年、二つの大きな事故がありました。1999年1月11日、某大学病院で「肺と心臓の手術患者取り違い事故」。1999年2月11日の某病院「消毒薬注射事故」です。「えっ」と思われるかもしれませんが前者はお互いの患者様の名前の取り違い。後者の事故は注射器に消毒薬を詰めた看護師とは別の看護師が勘違いをして注射してしまったという事故です。

事故対策の基本は「人間は間違える動物である」という認識に基づき、この認識を共通にすることから医療安全はスタートすると言われていました。あつてはいけないことですが、実際にこんな事故が起きているのです。病院は、安全で安心な医療を患者様に提供しなくてはなりません。毎日、当院の医療は安全であるか、危険な事案はないか、患者様にとって安心安全な医療が提供されているかなど検討しています。

昨今、「患者参加の医療安全」が注目されています。医療を受ける当事者である患者様を含めた医療安全の取り組みです。それは何も特別なことではなく、医療従事者とのコミュニケーションが上手くいくことが安全につながるということです。たとえば、お名前を確認させていただく時、ご自身からフルネームで名乗っていただくとか、点滴のボトルに書いてある名前をスタッフと一緒に確認していただくこともひとつです。

病院での治療はチームで行うものと考えており、患者様もそのチームの一員と考えています。そのことは医療現場の安全性を高めることに繋がります。

JA尾道総合病院が地域の皆様にとって安心して医療が受けられる場になるよう、これかれらも頑張っ参りたいと思います。よろしくお願ひします。

出前講座を開催しました

当院の新たな取り組みとして、尾道市・三原市・世羅郡の団体やグループを対象とした出前講座を行っています。出前講座とは、健康・医療に係る情報を、当院の専門スタッフが皆様の元へ赴き、講演させて頂くという試みです。

地域の皆様に健康についての理解を深めて頂き、住み慣れた地域で元気に過ごしていただくことを目的としていますが、これまでに各団体で開催し、ご好評いただいております。

糖尿病などの生活習慣病や脳卒中、乳がん、心臓病の話などさまざまなテーマを用意しております。講演料は無料ですので、お気軽にご相談下さい。



申込・お問合せ先

JA尾道総合病院 医療福祉支援センター TEL0848-22-8111 (代) FAX0848-22-5102
※詳細は病院ホームページでもご覧いただくことができます。

新任医師を
紹介 します



耳鼻咽喉科 片桐 佳明 (かたぎり よしあき)

コメント

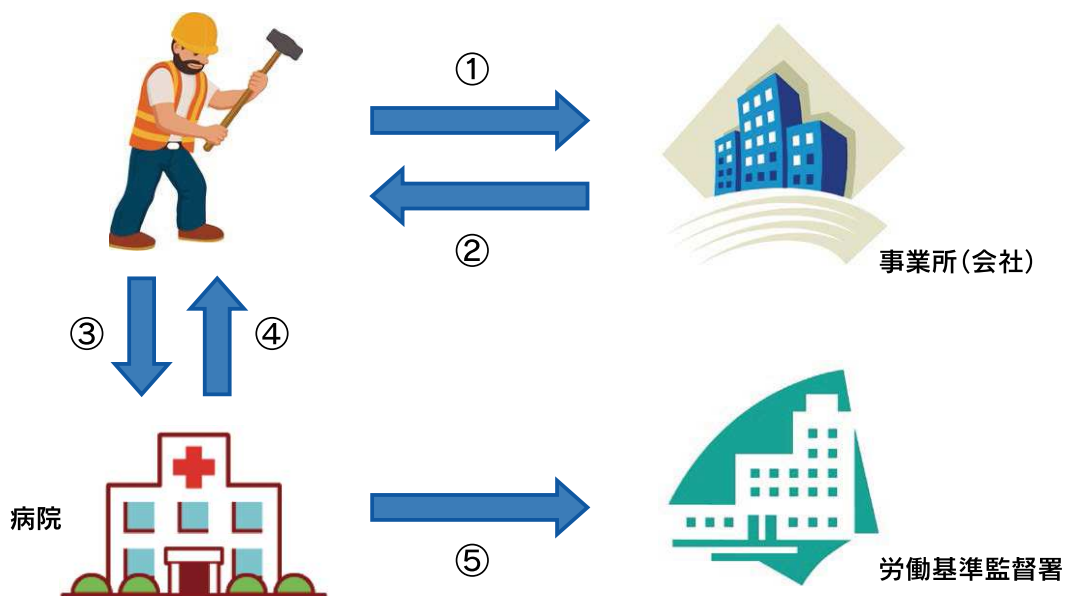
6月から耳鼻咽喉科で勤務している片桐佳明です。前任の大学病院では頭頸部癌を多く経験させていただきました。よろしくお願いします。

労災隠しは犯罪です!!

労災とは、労働者（正社員、パート、アルバイト等、賃金を支給され労働している方すべて）が工作中、または通勤中にケガ、発病、あるいは死亡したときに補償を行なう保険です。工作中・通勤中にケガをしてしまったら、どんな小さなケガも全て“労災”となります。

工作中的のケガであれば健康保険は使用出来ません。 (※)『労災保険』=労働者災害補償保険のこと。

★ケガをしてしまった際の労災手続きの流れ★



- ① 工作中、もしくは通勤中にケガをしてしまったことを報告
- ② 「療養の給付請求書」の発行・・・工作中であれば様式第5号
通勤中であれば様式第16-3号
- ③ 労働者は「労災」であることを労災指定病院の窓口へ伝え、受診する
(※受診時または後日に、「療養の給付請求書」を窓口へ提出する)
- ④ 労災指定病院は、労働者に対して診療を行う
- ⑤ 労災指定病院から労働基準監督署へ「療養の給付請求書」を提出する

仕事中にケガをした場合は、まずは会社へ相談をして下さい

MERS (中東呼吸器症候群) への マーズ 対応について

■海外にてアラビア半島又は周辺諸国、韓国を中心にMERSがまん延しており、この病気の国内感染のリスクを可能な限り減らす目的で厚生労働省より指示が出ています。

つきましては、下記項目に該当する方は、

医療機関を受診することなく直接保健所へご連絡ください。

1 38℃以上の発熱及び咳を伴う呼吸器症状を呈し、発症前14日以内に対象地域に渡航又は居住していた

2 38℃以上の発熱及び咳を伴う呼吸器症状を呈し、発症前14日以内に対象地域において、

- ア) 医療機関を受診・訪問した
- イ) MERS患者と接触した
- ウ) ヒトコブラクダと濃厚接触した

3 38℃以上の発熱及び咳を伴う呼吸器症状を呈し、発症前14日以内にMERS疑い患者と接触した

※対象地域

ヨルダン クウェート オマーン カタール サウジアラビア

アラブ首長国連邦 イエメン イラン レバノン 韓国



1・2・3 いずれかに当てはまればご連絡を!

《連絡先》 〒722-0022 尾道市古浜町26-12

広島県東部保健所 保健課

電話 0848-25-4640

※休日・夜間にも対応しています。